

第3学年 外国語（英語）科学習指導案



単 元	「LESSON 6 Gestures around the World」（TOTAL ENGLISH（学校図書）P.51～）																				
目 標	<p>○関係代名詞を使った表現を含むスピーチ（本文）の Reading 活動に積極的に参加できる。 [コミュニケーションへの関心・意欲・態度]</p> <p>○関係代名詞を使って様々な人、物を説明することができる。 [表現の能力]</p> <p>○関係代名詞の使い方やそれを使った英文の作り方を理解することができる。 [理解の能力]</p> <p>○L 6 A から 6 C の本文を読んで、文化による身ぶりの違いを理解することができる。 [言語や文化についての知識・理解]</p>																				
指導上の立場	<p>○生徒の実態について</p> <p style="text-align: center;">略</p> <p>○題材観 Lesson5 で関係代名詞の主格を学び、この課では、目的格の which, that および関係代名詞が省略された形を扱う。学習指導要領では「理解の段階にとどめること」となっているので、関係代名詞で始まる節や文全体の意味を理解させたい。また関係代名詞を使うことによって表現の幅も広がるので、可能であれば例文に沿って英作文させたい。 また本課は「文化による身ぶりの違い」を扱っている。一つの身ぶりでも、国によって様々な意味を持つ。身ぶりの違いの例を紹介しながら、興味を持たせ、異文化理解につなげたい。</p> <p>○本題材で工夫する点や手だて 日頃、少人数による習熟度別指導のメリットを生かし、ウォーミングアップのゲームや本文読み、一文読みの練習を取り入れ、生徒の興味・関心を高める指導を心がけている。 基礎クラスの生徒は、全校の課題としている暗唱・Reading に関して、暗唱はもちろん Reading もしてこない生徒がほとんどである。そこで今回初めて暗唱を家でやってくるように3週間前から課題を出し、次の授業日までに一文ずつ覚えてくることにした。（全部で9文ある。）暗唱してきたことをウォーミングアップに活用し、少しでも自信につなげ、復習につなげたいと考えた。また本文読みの練習を通し、文化による身ぶりの違いを気づかせ、異文化理解を深めたい。また、英文が充分読めない生徒や学習についていけない生徒が多いので、読みの抵抗を少なくするためのワークシート、全員が見やすい教材提示装置を使用して、意欲を持って取り組めるよう工夫したい。また生徒たちが仲良く協力し合える雰囲気なのでグループ活動により全員が自信を持って学習できるように指導していきたい。</p>																				
指 導 計 画	<p>（全8時間扱い）</p> <table border="0"> <tr> <td>第1次</td> <td>L 6 - A</td> <td>内容理解・文型・表現練習</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>第2次</td> <td>L 6 - B</td> <td>内容理解・文型・表現練習</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>（第5次）</td> </tr> <tr> <td>第3次</td> <td>L 6 - C</td> <td>内容理解・文型・表現練習</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>第4次</td> <td>In Your Words</td> <td>内容理解・表現練習</td> <td>1時間</td> </tr> </table>	第1次	L 6 - A	内容理解・文型・表現練習	2時間	第2次	L 6 - B	内容理解・文型・表現練習	3時間				（第5次）	第3次	L 6 - C	内容理解・文型・表現練習	2時間	第4次	In Your Words	内容理解・表現練習	1時間
第1次	L 6 - A	内容理解・文型・表現練習	2時間																		
第2次	L 6 - B	内容理解・文型・表現練習	3時間																		
			（第5次）																		
第3次	L 6 - C	内容理解・文型・表現練習	2時間																		
第4次	In Your Words	内容理解・表現練習	1時間																		

本 時 案 (第5次)

目 標	<p>○関係代名詞の目的格 that を用い、文を作ることができる。 [表現の能力]</p> <p>○ウォーミングアップや発表をするとき、積極的に参加できる。 [関心・意欲・態度]</p>	
学習活動	教師の支援・留意点	評価の観点等
<p><導入></p> <p>1 英語で挨拶をする。 ウォーミングアップの活動をする。(既習事項の復習)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を学習する雰囲気を作る。 ・L 6 B の暗唱にトライしてみる。できなければ、グループでやってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 (積極的に発言しようとしているか。) [関心・意欲・態度] <教材提示装置>
<p><展開></p> <p>2 関係代名詞の構造を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を思い出しながら本文を使い復習をする。 ・<名詞 + that + 主語 + 動詞> の並びを確認する。 ・カードを使い練習問題に取り組む。 	
<p>3 本時の目標を確認する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><目標></p> <p>関係代名詞目的格の that を使って文を作ろう。</p> </div>	
<p>4 ALT と JET の会話を聞き、内容を推測させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の中で関係代名詞 that を使用していることに気付かせ、内容を想像させる。 ・その中で使われた例文を黒板に提示し、構造を確認させる。 	
<p>5 例文を応用して英作文する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英作文の抵抗を少なくするために、カードを用いて文を作らせる。 ①カードを並べ替え例文を作らせる。(机上にテープで貼らせる。) ②例文を参考にグループで文を作りカードに書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 (関係代名詞を使って文を作ることができているか。) [表現の能力]
<p>6 作った文を発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT とともに机間指導をし、アドバイスする。 ・グループの代表に発表させる。教材提示装置で写し、全員で確認させる。 	<p><教材提示装置></p>
<p><まとめ></p> <p>7 クイズに答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞を使ったクイズに答える。 	
<p>8 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6 C の予習、6 B の単語テストの準備、6 B のパートナーをしてくることを伝える。 	

第3学年	
単元	「LESSON 6 Gestures around the World」(TOTAL ENGLISH (学校図書) P.51～)
目標	<p>○関係代名詞を使った表現を含むスピーチ(本文)のReading活動に積極的に参加できる。 [コミュニケーションへの関心・意欲・態度]</p> <p>○関係代名詞を使って様々な人、物を説明することができる。 [表現の能力]</p> <p>○関係代名詞の使い方やそれを使った英文の作り方を理解することができる。 [理解の能力]</p> <p>○L6AからL6Cの本文を読んで、文化による身ぶりの違いを理解することができる。 [言語や文化についての知識・理解]</p>
指導上の立場	<p>○生徒の実態について</p> <p style="text-align: center;">略</p> <p>○題材観 Lesson5で関係代名詞の主格を学び、この課では、目的格 which, that および関係代名詞が省略される形を扱う。学習指導要領では「理解の段階にとどめること」となっているので、関係代名詞で始まる節や文全体の意味を理解させたい。また、関係代名詞を使うことによって表現の幅も広がるので、可能であれば複数の文章を作らせたい。</p> <p>○本題材で工夫する点や手立て 少人数による習熟度別授業のメリットを生かし、本クラスでは多読と“暗写”(暗唱した文を書くこと)を取り入れた授業を行っている。本文を何度も繰り返し読むことで、英文のリズムを体得して自信をもつようになり、英語への苦手意識を少しでも減らすことができる。また、日本語にはない、英語の語順にも気づくことができる。そして、ジェスチャーを交えながら、ペアワークで読みの練習をさせることにより、本課の目標のひとつである「文化による身ぶりの違い」を理解させることができる。さらに、暗写を意識させることで、より本文の内容を理解しようしたり、本文の暗記をしようとする。英語の文を作ることが苦手な生徒でも、暗記した文をノートに書くことはできるので、これがまた自信につながるようにしたい。ただし、頭に入っていないものをひたすら暗写させても時間の無駄になるので、よく文章を読み込ませておくか、少し考えて文章が出てこない場合は、ヒントを与えるなどの注意が必要である。</p>
指導計画	<p>(全8時間扱い)</p> <p>第1次 L6-SA 内容理解・文型・表現練習・・・2時間</p> <p>第2次 L6-SB 内容理解・文型・表現練習・・・3時間 (第3時)・・・本時</p> <p>第3次 L6-SC 内容理解・文型・表現練習・・・2時間</p> <p>第4次 In Your Words 内容理解・表現練習・・・1時間</p>

本時案(第2次第3時)

目標	○今までに習った関係代名詞を使って、文を作ろう。 [表現の能力]	
学習活動	教師の支援・留意点	評価の観点等
<p><導入></p> <p>1. 英語で挨拶をする。</p> <p>2. たてよこドリルをする。</p> <p>3. 小テストをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語を学習する雰囲気を作る。 時間を計り、何分でできたかを生徒に伝え、正確に迅速にできたことを評価する。 Lesson 6 Section Bの小テストをする。 	
<p><展開></p> <p>4. 本文読みの復習をする。</p> <p>5. 暗写をする。</p> <p>6. 本時の目標の確認をする。</p> <p>7. カードを使って、関係代名詞の文を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 判読に続いて Lesson 6 Section Bの本文を大きな声で一斉に音読させる。 Lesson 6 Section Bの暗写をさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><目標> 今までに習った関係代名詞を使って、文を作ろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> PCとテレビを使って例を示す。 黒板に複数枚の単語カードを貼り、カードを並べ替えさせて英文を作らせる。 5人1組とするが、同じ人が何度も答えないように順番に答えさせる。 1回を5分とし、時間で区切る(2回戦まで)。答え合わせを一緒にし、間違いの確認をする。 語順並べ換え時のポイントについて説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察(関係代名詞を使った文を正確に作れているか。)
<p><まとめ></p> <p>8. 関係代名詞を使った問題を解く。</p> <p>9. 次時の指示をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配り問題に取り組みさせる。 生徒に解答を黒板に書かせ、答え合わせをする。 L6Cの予習をしてくるよう伝える。 	